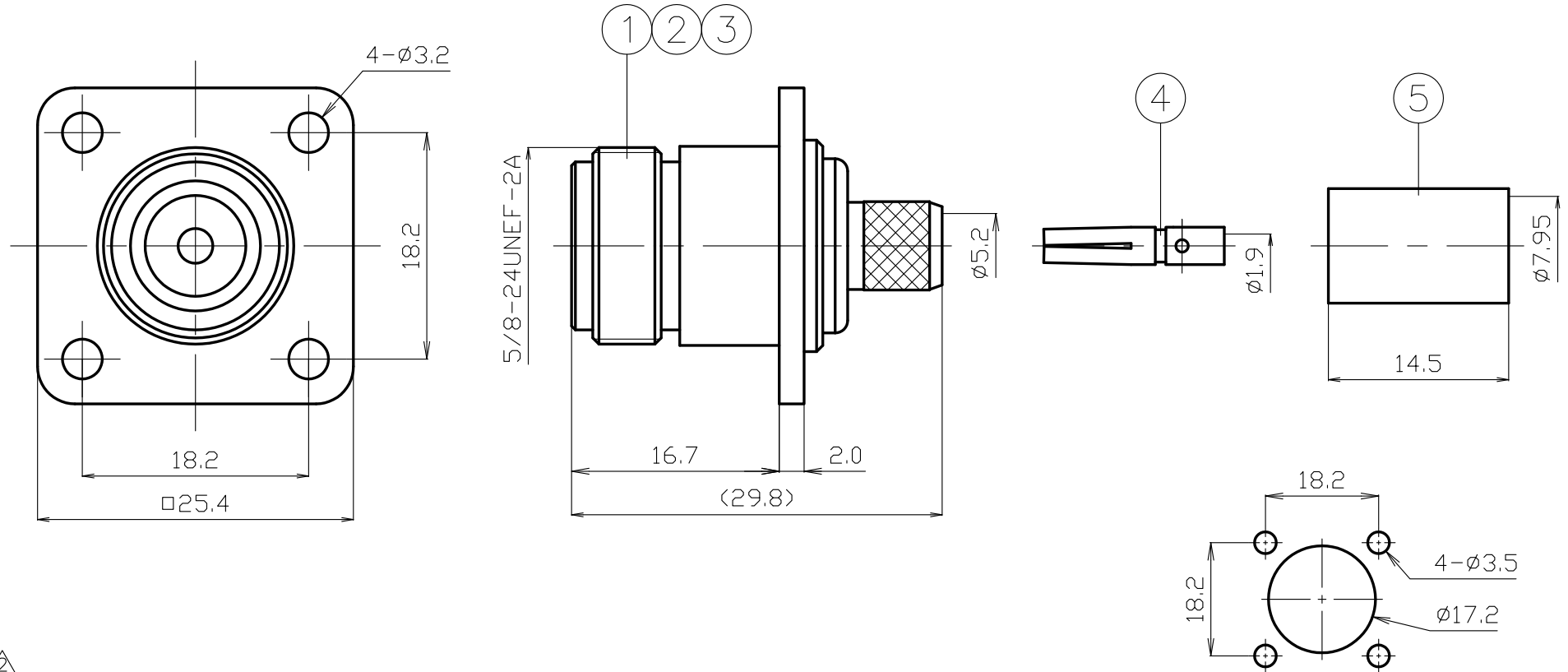


番号	変更・記事	日付	確認
△	社名変更	2012.01.05	済
△	図面外観化、RoHS表記追記	2017.02.06	(山本)
△			



取付穴参考寸法

RoHS Compliant [Cd ≤75ppm]	
REMARKS	BRASS: Cd ≤75ppm PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

7						尺度 2/1	製図	検図	承認	確認	品名
6							渡邊	檜	山	三	N-PJ-5FBA
5	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni			'17.02.06	'17.02.06	'17.02.06	'17.02.06	
4	中心コンタクト	リン青銅	1	Au			直弘	澤	本	村	
3	ホルダー	黄銅	1	Ni		単位 mm					
2	絶縁体	テフロン	1	--		日付					
1	シェル	黄銅	1	Ni		2005.10.11	投影法				
番号	部 品 名	材 質	数 量	処 理	備 考		株式会社 トーコネ TO-CONN CO., LTD.			図 番 J-0522526	

# 仕 様 書

品 名 N-PJ-5FBA

No. 0521823

図 番 J-0522526

定 格 1 参考規格  
2 定格電圧  
3 公称インピーダンス  
4 使用温度範囲  
5 使用湿度範囲

JIS C 5411  
AC 500V  
50Ω  
-40℃~+85℃  
95%RH以下



項 目		条 件	規 格
1 2 3	構造及び形状寸法	添付図に示す (図番 J-0522526)	異常のないこと
	材 質		
	仕上げ及び表示		
4	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを超えない方法にて	3mΩ以下
7	特 性		
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	ケーブル接続強度	軸方向引張力 196N以上	異常のないこと
10	結合部接続強度	軸方向引張力 300Nを加えたとき	ネジ部の変形などの異常がないこと
11	雌コンタクトの保持力	規格品ゲージ 0.98N以上	異常のないこと
12	取付部強度	引張力 500Nを加えたとき	異常のないこと
13	繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は10mΩ以下
14	適合ケーブル	5D-FB、5D-FB/F	

変更履歴		日付
1	5D-FB/Fを追加	2024/1/19
2	4 使用温度範囲-40℃~+85℃を追加	2024/1/19
3	5 使用湿度範囲 95%RH以下を追加	2024/1/19

確 認	承 認	検 印	作 成
三 24.01.19 村	山 24.01.19 本	檜 24.01.19 澤	上 24.01.19 領

GKQM-7

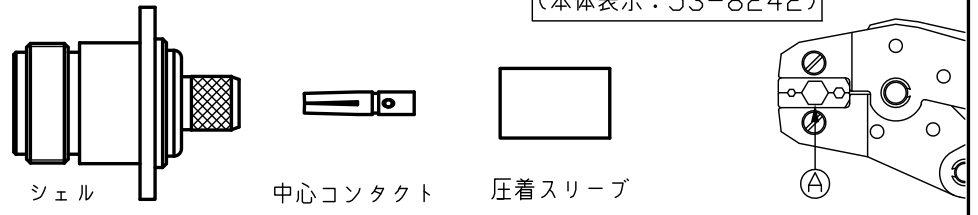
# N-PJ-5FBA 取付仕様書

適合ケーブル

関西通信電線 5D-FB、5D-FB/F

専用圧着工具  
TA-35  
(本体表示：53-8242)

部品構成

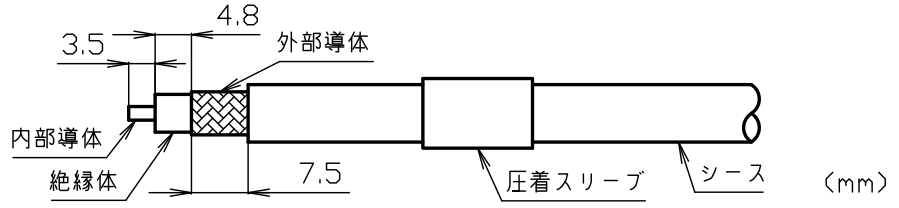


図番  
J-0522526

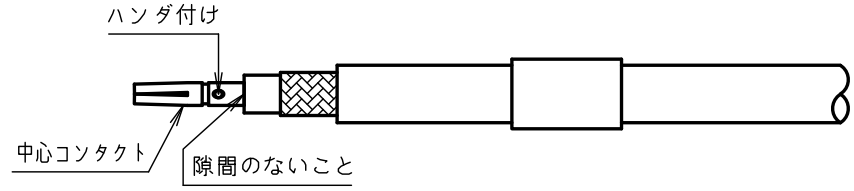
製図	検図	承認	確認
上 '24.01.19 領	檜 '24.01.19 澤	山 '24.01.19 本	三 '24.01.19 村



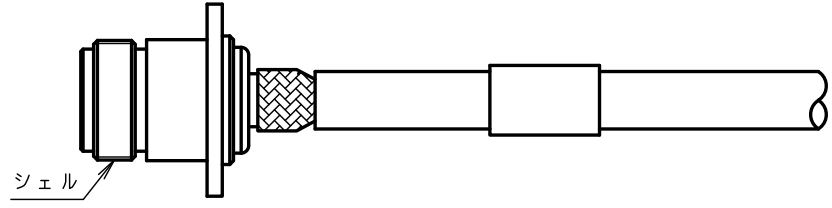
番号	変更・記事	日付	確認
▲	社名変更	2012.01.05	済
▲	TA-35 ご使用上の注意参照 追記	2012.11.29	済
▲	適合ケーブル追記	2024.01.19	済



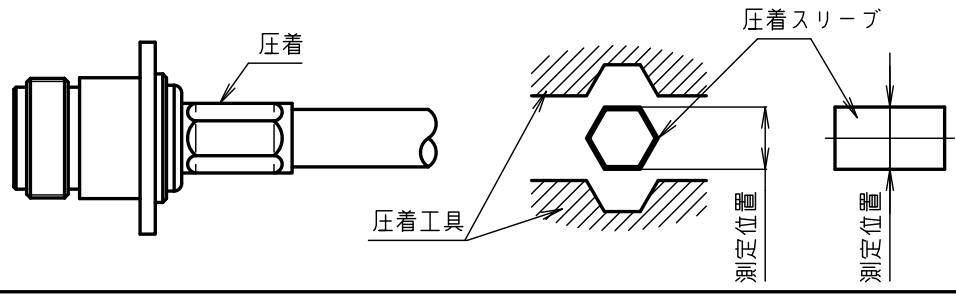
1 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シース、絶縁体、外部導体を図中の寸法で切りとる。



2 内部導体に中心コンタクトを装着し、ハンダ付けをする。  
※半田が盛り上がらないよう、絶縁体と中心コンタクトの間に隙間の無いよう注意しながらハンダ付けを行う。  
半田付け後、中心コンタクトを軽く引張り、抜けないことを確認する。

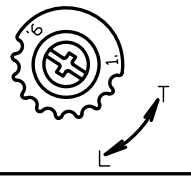


3 シェルを同軸ケーブルと絶縁体の外部導体の間に装着する。  
(この時プチンと中心コンタクトが定位置に入ったことを確認する。)



4 圧着スリーブをスライドさせ外部導体にかぶせて圧着工具のA部で圧着して作業を完了する。  
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプ高さにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。  
測定位置でのクリンプ高さ8.35~8.50mm

強度調整ダイヤル



◆TA-35をご使用の場合は、別紙「TA-35圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。

# TA-35圧着工具 ご使用上の注意

(本体表示：53-8242)



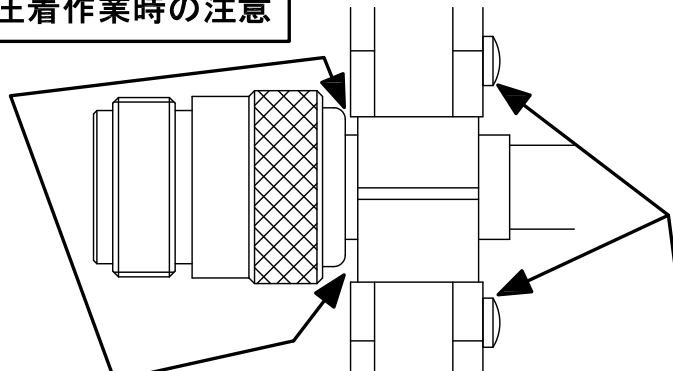
作成 確認

山  
'12,11,14  
本

檜  
'12,11,14  
澤

◆TA-35圧着工具をご使用の際は、下記に注意してご使用ください。  
コネクタの形状により、圧着工具の部位が接触しコネクタにキズがつく場合があります。

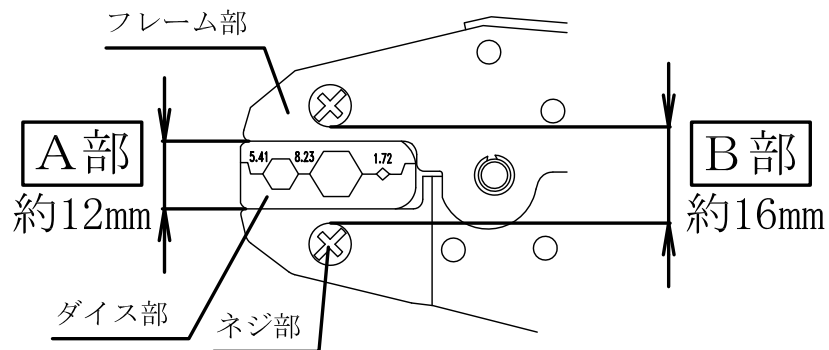
## 圧着作業時の注意



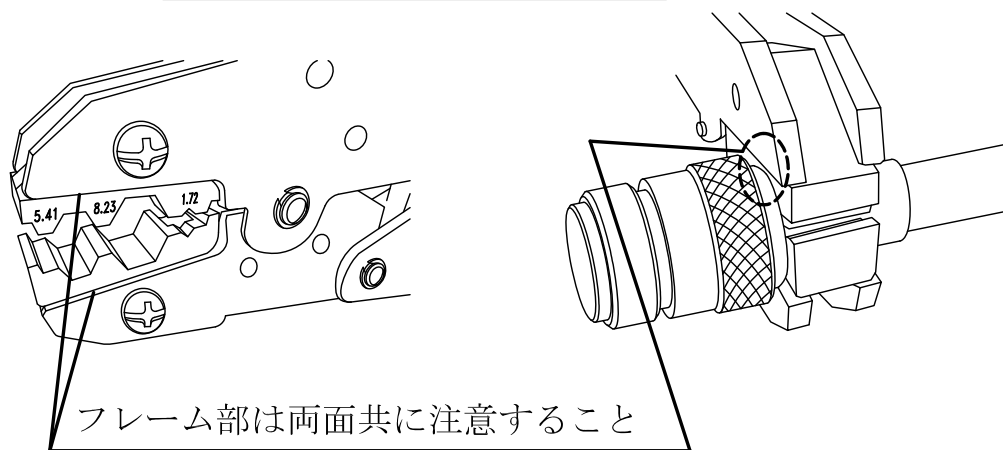
① フレーム部に当たらないように  
ダイスとの隙間に注意 **※注1**

② ネジ部に当たらないように注意

**A部** ダイス幅よりもフレーム部の幅が大きく、コネクタの圧着部付近が下記寸法よりも大きいコネクタは接触しないよう注意が必要です。



**B部** 圧着部付近が16mmを超えるコネクタは圧着工具のネジ部が当たらないように、向きを変えて作業してください。



## ※注1

仕上がり状態で、下記範囲が1.5mm以下になるように作業をおこなってください。

